

2014年9月8日

報道関係各位

男性は“老眼”、女性は“肌の衰え”によって加齢を実感

シニアの「敬老の日」に関する調査

私たちはまだまだ若い！約3割が「祝われるのは複雑」

シニア向け宿泊予約サービスを提供する株式会社ゆこゆこ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:萩原浩二)は、当社運営の宿泊予約サイト「ゆこゆこネット」の50代以上のメールマガジン会員1,695人を対象に、「敬老の日」に関する調査を実施しました。

< 調査結果ダイジェスト >

加齢を実感する瞬間について

自分の年齢、男性は“老眼”、女性は“肌の衰え”によって実感

・「休日家でゴロゴロが増えた」「ゴルフの飛距離が落ちた」「針に糸が通せなくなった」とのエピソードも

他人の年齢、男性は“髪”、女性は“肌の衰え”を見て実感

・「病気の話が出たとき」「恥じらいが薄くなってきたとき」「お酒の量が減ったとき」とのエピソードも

シニアが考える「老人」の定義について

70代以上の約4割が「自分はまだ老人ではない」と認識

・「私たちはまだまだ若い！」70代の約4割が「80歳以上」を老人と考えている

「敬老の日」、シニアの約3割が「祝われるのは複雑」

・「心身ともに若いつもりなのに…」周りからの老人扱いにギャップ？

【有識者の見解】年齢と気分のギャップに戸惑うシニア世代

(シニアライフアドバイザー/有限会社アリア 代表 松本すみ子氏)

「敬老」の意味や名称、対応にも変化が必要

・「若いとは言われないにしても、衰えているとは思われたくない」。シニアの心理を汲み取った製品・サービスの提供が大事

【調査概要】

調査期間:2014年7月12日~7月15日

調査対象:ゆこゆこネットメールマガジン会員

対象条件:50代以上の男女

調査方法:メールマガジン会員向けインターネット調査

有効回答数:1,695件

回答者プロフィール

	男性	女性
全体	1332	363
50代	387	195
60代	659	147
70代以上	286	21

自分の年齢を実感するポイント:男性は“老眼”、女性は“肌の衰え”

Q1.あなたが「年をとった」と実感する瞬間はどんなときですか？<n=全員1,695、複数回答>

	男性	女性
1位	字が見えないとき 57.3%	鏡で顔を見たとき 66.4%
2位	友だちや有名人の名前がとっさに思い出せないとき 51.9%	字が見えないとき 63.4%
3位	モノの名前が思い出せないとき 46.1%	友だちや有名人の名前がとっさに思い出せないとき 59.2%
4位	鏡で顔を見たとき 45.7%	モノの名前が思い出せないとき 54.3%
5位	疲労を感じたとき 45.6%	疲労を感じたとき 50.7%

「年をとった」と実感する瞬間について聞いたところ、男性の1位は「字が見えないとき」57.3%、女性の1位は「鏡で顔を見たとき」66.4%でした。男性は“老眼”、女性は“肌の衰え”によって、最も年齢を実感するようです。

～「年をとった」と実感する瞬間 エピソード集～

男性

50代「筋肉痛が2日後にきたとき」「休日に家でゴロゴロが増えたとき」

60代「肌の色つやが衰えてきたとき」「仕事で後輩に優しくされたとき」「車を運転するのが億劫になった」

70代以上「階段を上がるとき」「ゴルフの飛距離が落ちた」

女性

50代「自分が思うより身体が動かないとき」

60代「顔がアップの写真を見たとき」「あてにされないとき」

70代以上「針に糸が通せないとき」

他人の年齢を実感するポイント:男性は“髪”、女性は“肌の衰え”

Q2.他人を見て「この人、年をとったな」と思うのはどんなときですか？<n=全員1,695、複数回答>

	男性	女性
1位	髪が薄くなったとき 61.8%	目じりや口元など顔のしわやシミを見たとき 69.1%
2位	目じりや口元など顔のしわやシミを見たとき 54.2%	髪が薄くなったとき 60.9%
3位	白髪を見たとき 54.1%	白髪を見たとき 59.0%
4位	背中が曲がっていたとき 50.4%	何度も同じ話をするとき 58.1%
5位	何度も同じ話をするとき 47.9%	背中が曲がっていたとき 56.7%

他人を見て「年をとった」と思うのはどんなときか聞いたところ、男性の1位は「髪が薄くなったとき」61.8%、女性の1位は「目じりや口元など顔のしわやシミを見たとき」69.1%でした。女性は自分自身と同様、他人の“肌”の変化に対しても敏感であるようです。

～他人が「年をとった」と思うとき エピソード集～

男性

50代「通勤電車で必ず座って寝ている姿」「眉毛・鼻毛などが伸びっぱなしのとき」

60代「病気の話が出たとき」「恥じらいが薄くなってきたとき」

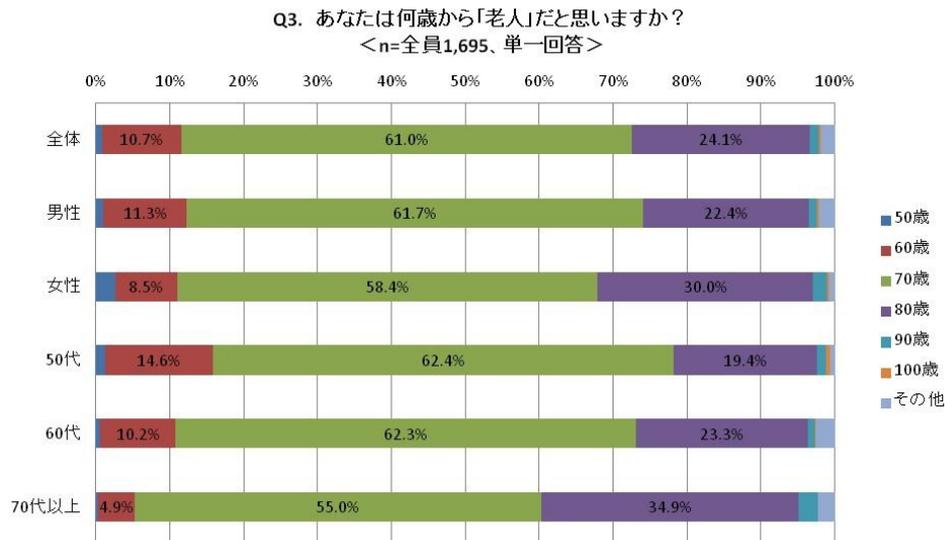
70代以上「声がしわがれているとき」「耳が遠くなったとき」

女性

50代「覇気がないとき」「お酒の量が減ったとき」

60代「短気・頑固になったと感じるとき」

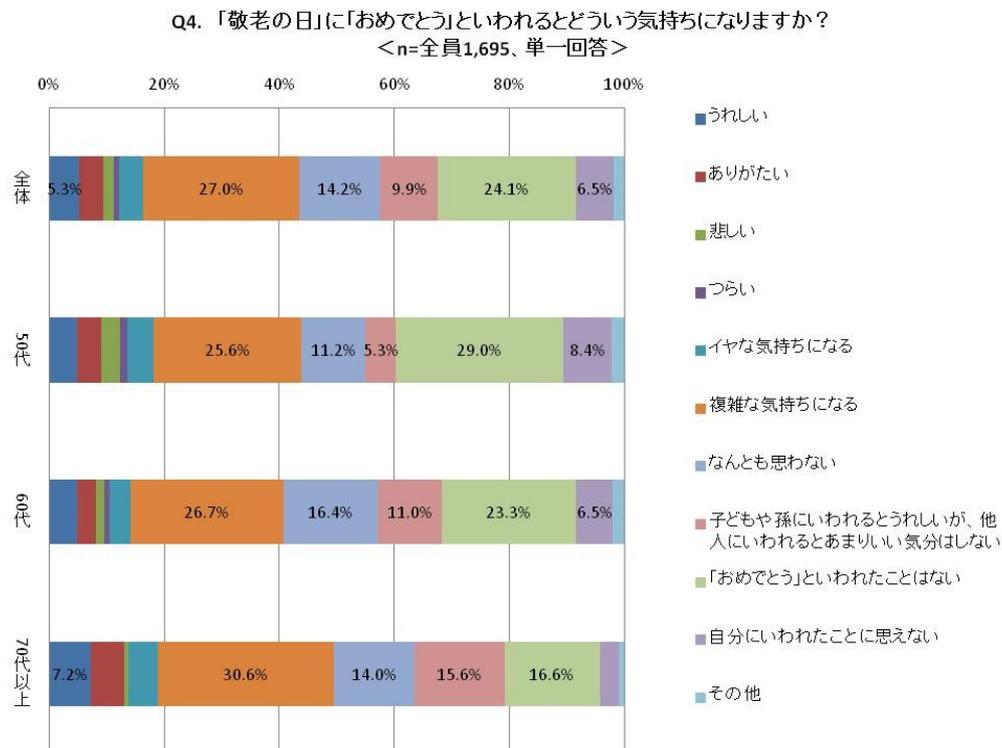
何歳から「老人」？：70代以上の4割が「自分はまだ老人ではない」と認識



何歳から「老人」だと思うかを聞いたところ、全体では「70歳」という回答が61.0%と最多でした。男女別にみると、女性の方が「老人」をより上の年齢を指す呼び方と捉えていました。

また、年代別でみると、70代以上のうち40%近くが「80歳」以上を老人だと思うと回答しており、70歳を超えても「自分はまだ老人ではない」と考える人が多いことがわかりました。

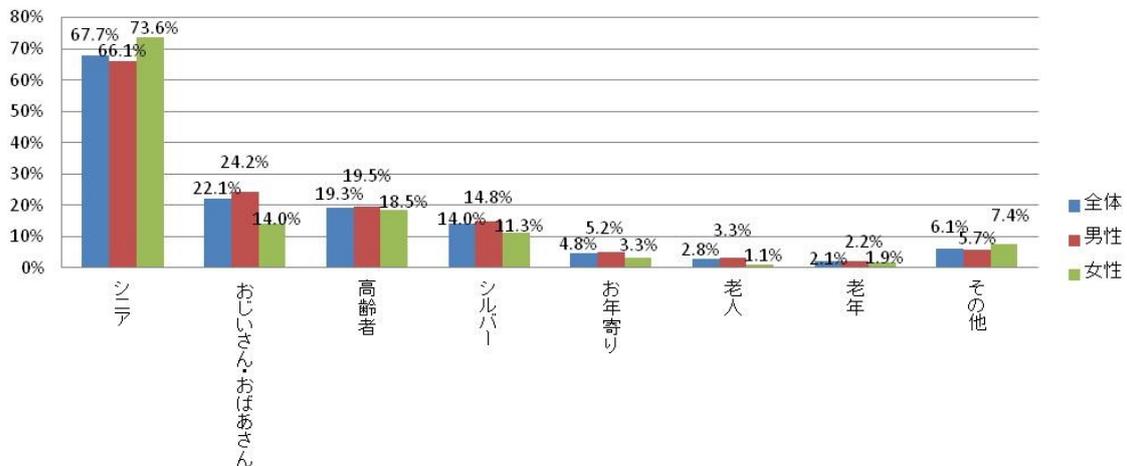
「敬老の日」を祝われることについて：約3割が祝われるのは「複雑」



「敬老の日」に「おめでとう」といわれるとどう気持ちになるかを聞いたところ、全体では「複雑な気持ちになる」という回答が27.0%と最多でした。年代別にみると、最も多いのが70代以上の30.6%で、自分では心身ともに若々しいのに周りに老人扱いされることにギャップを感じている様子がうかがえます。

年齢を重ねた人の呼び方：女性に「おばあさん」と呼ぶのはNG？

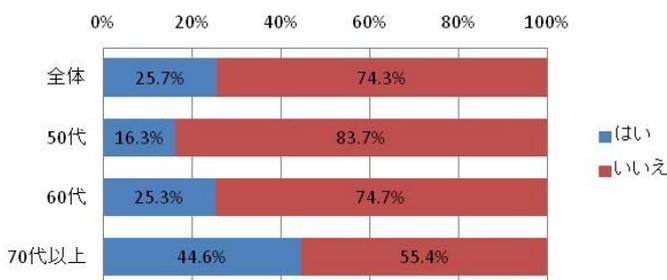
Q5. 年齢を重ねた人の呼び方で、あなたが「呼ばれてもいい」と感じるものはどれですか？
 <n=全員1,695、複数回答>
 ※男女別



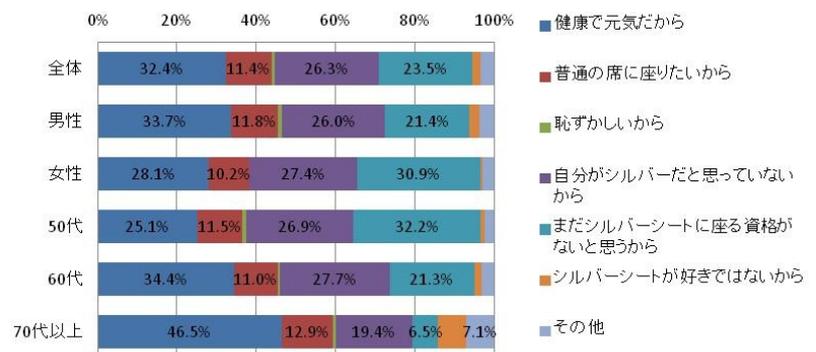
年齢を重ねた人の呼び方で、呼ばれてもいいものについて聞いたところ、全体では「シニア」が67.7%と最も受け入れられる呼ばれ方でした。男女別にみると、「おじいさん・おばあさん」が男性24.2%、女性14.0%と差が出ました。

シルバーシートの利用について：70代以上の半数以上は「座らない」

Q6-1. 電車やバスでシルバーシートに座りますか？
 <n=全員1,695、単一回答>



Q6-2. シルバーシートに座らない理由は何ですか？
 <n=シルバーシートに座らない人1,259、単一回答>



電車やバスでシルバーシートを利用するかどうかを聞いたところ、全体の74.3%が「座らない」と回答しました。70代以上でも55.4%が「座らない」と回答しました。70代以上が座らない理由で最も多いは「健康で元気だから」の46.5%で、まだまだ体力に自信があるシニアが多いことがうかがえます。

【参考】

年齢と気分のギャップに戸惑うシニア世代 ~「敬老」の意味や名称、対応にも変化が必要~

シニアライフアドバイザー / 有限会社アリア 代表 松本すみ子氏

調査で浮き彫りになったのは、シニア自身が思っている自分の姿と、外から提示されるイメージのギャップに戸惑い、抵抗している姿である。

「敬老の日」に「おめでとう」と言われることへの回答では「複雑な気持ちになる」が全体で27%と最も多かった。さらに、「悲しい」「つらい」「自分にいわれたとは思えない」などの否定的な回答を合わせると50%を超す。逆に「うれしい」「ありがたい」は10%にも満たない。同じく、「何歳から老人？」という質問には全体で61%が「70歳」と回答しているが、70歳以上の40%は「80歳以上」と回答している。

年齢数字や社会一般が持つ「老人」というイメージと、どう付き合っているかわからない状況にあるといえそう。今までこの国を支えてくれた人たちに感謝するという意味での「敬老」は悪いことではないが、ふだん感じていない人や気づきたくない人に「あなたは老人ですよ」という自覚をむりやり促す機会になってしまっているのかもしれない。

とはいえ、鏡で顔を見て自覚したり、文字が読みにくくなったり、人や物の名前が思い出せないなど、それなりに衰えや年齢はもちろん自覚している。70歳以上でも半数の人がシルバーシートに座らないのは、やせ我慢の面もあるだろう。若いとは言われないにしても、衰えているとは思われたくないという心理だ。製品やサービスはこうした複雑な心理を考えて開発したり、提供する必要がある。

また、「おじいさん、おばあさんと呼ばれていい」という回答が22%あったからと勘違いしてはけない。そう呼んでいいのは孫や子、またはその関係性を示す場合だけで、他人が使っている名称ではないのだ。孫のいないシニアもまた増えている。

「老人会」「老人クラブ」への抵抗も強くなった。「シルバー」「老人」はもはや使うべき言葉ではないかもしれない。寿命が延びた今、50歳以上といえば、人口の約45%を占める。その人々を、一律に老人扱いしていいことはなにもない。シニア世代は変化しており、「老人」の意味や名称、アプローチも変化してしかるべきである。

私たちゆこゆこは、「おとなの毎日に、楽しみを。」を企業理念に掲げ、宿泊予約を中心としたサービスをシニアの方々に提供しています。今後も、サービス拡充に向けて、「ゆこゆこネット」メールマガジン会員へのアンケートを定期的実施し、シニアの最新動向の把握に努めてまいります。調査結果は、シニアビジネス有識者の考察を盛り込んだ上で、プレスリリースとして発信してまいります。

〈株式会社ゆこゆこ 概要〉

- (1) 商号:株式会社ゆこゆこ
- (2) 代表者:代表取締役社長 萩原 浩二
- (3) 所在地:東京都中央区銀座 2-3-6 銀座並木通りビル
- (4) 設立:2000年1月12日(5) 資本金:205百万円
- (6) 売上高:82.0億円(14年3月期)
- (7) 従業員数:226人(14年7月現在)
- (8) 主な事業の内容:シニア向け宿泊予約サービス
 - ・宿泊情報誌「ゆこゆこ」発行
 - <会員数>594万人(13年6月末現在)
 - ・宿泊予約サイト「ゆこゆこネット」運営
 - <会員数>85万人(13年6月末現在)
- (9)コーポレートサイト URL: <http://www.yukoyuko.co.jp>
「ゆこゆこネット」URL: <http://www.yukoyuko.net>

この件に関するお問い合わせ先
株式会社 ゆこゆこ
経営企画室 企画統括グループ 笠原
TEL:03-6745-0506 FAX:03-3564-7692
E-mail: yuko_pr@yukoyuko.co.jp